

2022年度「アルミニウム製品」総需要見通し

アルミニウム調査会

① 総需要見通し総括

	2020年度実績	2021年度見込	対前年度比増減 (%)	2022年度見通し	対前年度比増減 (%)
合計	3,667	3,957	+7.9%	4,088	+3.3%

*四捨五入のため、合計値が合わない箇所あり(単位:千トン)

*電線は、見込み数値で、3月25日以降に確定数値となる。

●2021年度見込み

総需要: 3,957千トン(前年度比+7.9%) - 3年ぶりにプラスの見込み。

圧延品: 1,896千トン(前年度比+9.3%) - 詳細は「アルミニウム圧延品需要見通し」を参照。

鋳造品: 371千トン(前年度比+9.4%) - 自動車生産、部品輸出ともに前年からの回復を見込む。

ダイカスト品: 891千トン(前年度比+8.4%) - 自動車生産、部品輸出ともに前年からの回復を見込む。

輸入: 561千トン(前年度比+7.4%) - 国内外の経済活動の再開に伴い、輸入増加。

●2022年度見通し

総需要: 4,088千トン(前年度比+3.3%) - 2年連続でプラスの見通し。

圧延品: 1,937千トン(前年度比+2.2%) - 詳細は「アルミニウム圧延品需要見通し」を参照

鋳造品: 390千トン(前年度比+5.0%) - 自動車生産、部品輸出は引き続き増加を見通す。

ダイカスト品: 936千トン(前年度比+5.0%) - 自動車生産、部品輸出は引き続き増加を見通す。

輸入: 579千トン(前年度比+3.2%) - 国内外の経済活動の正常化に伴い、増加を見通す。

② 主要部門別補足説明

<圧延品>

2021年度 (+9.3%)	<p>○缶材— +2.2%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家飲み需要により、ビール類、RTDなどのアルコール飲料が堅調に推移。 ・ 清涼飲料は、テレワークの普及、外出自粛などにより、販売減少。 <p>○自動車材— +9.7%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車軽量化ニーズによるアルミの新規採用車種が増加。 ・ 二輪車は密を避けるための移動手段やアウトドア・レジャー需要あり。 <p>○建材— +4.9%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅着工戸数の増加、コロナ禍からの緩やかな回復などにより2020年比でプラスの見込み。
2022年度 (+2.2%)	<p>○缶材— +0.2%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ RTD、健康志向の機能性アルコール飲料などは引き続き堅調、脱プラスチックの影響により、ボトル缶は若干の増加を見通す。 <p>○自動車材— +6.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車軽量化ニーズによるアルミの新規採用車種が増加。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二輪車は密を避けるための移動手段やアウトドア・レジャー需要あり。 <p>○建材ー ▲1.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍からの回復を見込むも、素材や物流コストの高騰、トップランナー制度により、アルミサッシから樹脂複合、樹脂サッシへの移行が進展。
--	---

注1)：左欄の（ %）は前年度比。以下同様

< 鋳造品 >

2021 年度 (+9.4%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済活動の制限が緩和しつつも、半導体不足や新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響などにより、主要用途である自動車関連の回復が減速。コロナ以前までの回復は見込めず。
2022 年度 (+5.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下振れリスクはあるものの、国内外の景気は緩やかに回復、経済活動の正常化に伴い、需要増を見通す。

< ダイカスト品 >

2021 年度 (+8.4%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済活動の制限が緩和しつつも、半導体不足や新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響などにより、主要用途である自動車関連の回復が減速。コロナ以前までの回復は見込めず。
2022 年度 (+5.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下振れリスクはあるものの、国内外の景気は緩やかに回復、経済活動の正常化に伴い、需要増を見通す。

< 電線 >

2021 年度 (▲19.4%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内需は、出荷量でウェイトの高い電力向けで架空線張替工事が一巡、電力会社の設備更新が端境期となり減少。また、その他の分野で銅価高騰継続によるアルミ電線への切り替え需要はあるものの、伸びは鈍い。 ・ 輸出は、大型案件の収束による端境期で、マイナスを見込む。
2022 年度 (+1.2%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内需は、電力向けはコロナ禍による工事停滞の懸念はあるものの、再生可能エネルギー向けの大型幹線増強の期待もあり、横ばいと予測。また、その他の分野では銅価高騰継続による切り替え需要と民間設備投資の回復による増加を予想。 ・ 輸出は、コロナ禍で落ち込んでいた需要が回復基調に向かうと思われ、増加を見通す。

< 鉄鋼（鉄鋼脱酸用アルミ） >

2021 年度 (+7.3%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ影響からの緩やかな回復に伴い、国内粗鋼生産量は徐々に増加。
2022 年度 (±0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 需要は旺盛だが、国内粗鋼生産能力の限界もあり、前年並みの生産量にとどまる

< 輸入 >

2021 年度 (+7.4%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外の経済活動の持ち直しに伴い、輸入量は回復。アルミニウム圧延品、製品ともに輸入増を見込む。
--------------------	---

2022年度 (+3.2%)	・ 新型コロナウイルス感染症や、地政学的リスクなどの不透明要因はあるものの、国内外の経済活動の正常化に伴い、引き続き堅調に増加を見通す。
-------------------	--

以 上

③ 製品別需要

2022年3月24日
アルミニウム調査会
(単位:トン)

製品		年度	2020 実績	2021 見込み	2022 見通し	対前年度増減率	
						21/20	22/21
圧延品	板類		917,448	994,784	1,031,300	8.4	3.7
	内自動車		171,572	195,700	212,500	14.1	8.6
	押出類		665,527	711,665	714,900	6.9	0.5
	内自動車		122,195	126,541	129,500	3.6	2.3
	計		1,582,975	1,706,449	1,746,200	7.8	2.3
	内自動車		293,767	322,241	342,000	9.7	6.1
鑄造品	自動車		314,920	343,100	361,700	8.9	5.4
	その他		24,496	28,100	28,100	14.7	0.0
	計		339,416	371,200	389,800	9.4	5.0
ダイカスト品	自動車		733,067	786,800	828,500	7.3	5.3
	その他		89,109	104,600	107,500	17.4	2.8
	計		822,176	891,400	936,000	8.4	5.0
鑄造品・ダイカスト品 計			1,161,592	1,262,600	1,325,800	8.7	5.0
鍛造品			41,436	45,041	47,293	8.7	5.0
内自動車			30,040	32,653	34,286	8.7	5.0
電線			23,383	20,000	20,000	▲ 14.5	0.0
鉄鋼			104,467	112,100	112,100	7.3	0.0
粉			7,989	11,017	11,370	37.9	3.2
その他			38,723	42,557	43,919	9.9	3.2
輸入			522,357	561,011	578,963	7.4	3.2
国内需要計			3,482,922	3,760,775	3,885,645	8.0	3.3
輸出入			183,646	196,364	202,648	6.9	3.2
総需要計			3,666,568	3,957,139	4,088,293	7.9	3.3

自動車向け 合計 1,371,794 1,484,794 1,566,486 8.2 5.5

注1) ▲印はマイナス

注2) 輸入は、「圧延品」「その他(粉、構造物、缶箱、台所用品、その他)」の輸入の合計数字(出典:財務省貿易統計)

注3) 輸出は、「圧延品」、「電線」、「粉」、「地金」の輸出の合計数字(出典:「圧延品」「粉」日本アルミニウム協会統計、「電線」日本電線工業会統計、「地金」財務省貿易統計)

注4) トン未満を四捨五入しているため、合計値が合わない箇所がある。

アルミニウム調査会構成 (順不同)

アルミ缶リサイクル協会

一般社団法人 日本アルミニウム合金協会

一般社団法人 日本ダイカスト協会

一般社団法人 日本アルミニウム協会

一般社団法人 軽金属製品協会

一般社団法人 日本サッシ協会

一般社団法人 日本電線工業会